

平成28年 第8回大崎市教育委員会定例会会議録

1 招 集 期 日	平成28年8月25日(月)	開会 午後2時40分	閉会 午後4時00分	
2 招 集 場 所	岩出山総合支所 第三会議室			
3 出 席 委 員	委 員 長	澁 谷 秀 昭	委 員 長 者 職 務 代 行 者	氏 家 茂
	委 員	松 本 美 佐 子	委 員	若 見 朝 子
	教 育 長	青 沼 拓 夫		
4 欠 席 委 員	なし			
5 傍 聴 者	なし			
6 事 務 局 職 員 者 出 席	教 育 部 長	門 脇 喜 典	参 事	鈴 木 文 也
	教 育 総 務 課 長	佐 藤 俊 夫	学 校 教 育 課 長	佐 藤 賢 一
	生 涯 学 習 課 長	荻 野 信 男	文 化 財 課 長	鈴 木 勝 彦
	図 書 館 長	田 口 新 一	中 央 公 民 館 長	藤 本 重 吉
	学 校 教 育 課 副 参 事	佐 々 木 誠 道		
7 書 記	教 育 総 務 課 課 長 補 佐	平 地 久 悦		角 力 山 淳
8 議 事	議案第41号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について		
	議案第42号	人事案件について		
	議案第43号	人事案件について		
	議案第44号	人事案件について		
9 報 告		平成28年度大崎市の教育について		
		平成27年度大崎市公民館事業の実施状況について		

<p>委員長</p>	<p>出席委員定足数に達しておりますので、平成28年第8回大崎市教育委員会定例会は、成立いたしました。</p> <p>これから会議を開きます。</p>
<p>委員長</p>	<p>はじめに、平成28年第4回臨時会及び第7回定例会の会議録の承認を求めます。</p> <p>内容について、ご異議ありませんか。</p> <p>ご異議ないものと認め、会議録を承認いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員を指名いたします。</p> <p>松本委員にお願いいたします。</p>
	<p>1月（ひとつき）あまりにおよぶ各学校の夏休みも終わり、各中学校は、今週22日に5校、23日に4校、24日に2校で2学期が始まりました。</p> <p>また、幼稚園、小学校は一斉に明日から2学期がスタートします。</p> <p>この夏休み期間中、園児や児童生徒には、特に大きな事故もなく、学校、地域、子供会等で予定されていた各種行事も無事終了いたしました。</p> <p>園児や児童生徒それぞれの貴重な体験をこれからの学校生活にも活かしてもらいたく思っております。</p> <p>また、先週今週に発生した台風7号、及び台風9号が大崎市にも大雨等をもたらしました。</p> <p>古川第五小学校をはじめとした一部の小学校体育館、また公民館を避難所として開設いたしました。幸いにも子どもたち、教職員等に被害はなく、また他教育施設についてもこれら台風に起因した大きな施設被害はありませんでした。</p> <p>はじめに、8月5日から行われております「全国中学校総合体育大会東北大会、並びに全国大会出場結果」についてご報告申し上げます。</p> <p>団体部門では、東北大会において古川東中学校男子ソフトボール部が優勝し、全国大会へ出場しました。全国大会では、ベスト8まで勝ち進みました。</p> <p>同じく団体部門、東北大会において三本木中学校女子卓球部が第3位となり、全国大会へ出場いたしました。</p> <p>東北大会卓球男子の個人部門では、三本木中学校の入江崇武（たかむ）君が準優勝し、全国大会へ出場いたしました。結果は初戦敗退でした。</p> <p>柔道男子の個人部門では、古川北中学校の佐々木康晴（こうせい）君が2年連続、田尻中学校の只野理玖（りく）君が初めて全国大会へ出場いたしました。佐々木君は1回戦勝ち上がりましたが惜しくも2回戦敗退。只野君は初戦敗退となったところでございます。</p> <p>その他の夏休み期間中の大会といたしましては、日本陸上競技連盟主催の第32回全国小学生陸上競技大会100メートル走において、川渡小学校の早坂琉亜（りゅうあ）君が出場し予選13秒31のタイムを出しましたが残念ながら突破できませんでした。早坂君は県大会では13秒16のタイムを出した子でございます。</p> <p>日々の練習の成果が、結果に結びつきました。児童生徒たちのひたむきな努力に心からエールを送りたいと思います。</p>

それでは、学校教育部門、文化財保護部門、生涯学習部門におけるお主な事業について、ご報告申し上げます。

7月下旬から各中学校、鬼首小学校を会場として、自主的な学習支援、さらには家庭での学習習慣を身に付けてもらうことを目的として、夏休み学び支援（サマースクール）を実施してまいりました。

相談員、支援員、学生ボランティアによる総勢76名の協力を得て、600名を超える児童生徒が参加しました。

寄せられました感想等を踏まえながら課題等整理し、冬季、または次年度に向けた学び支援事業の充実に努めてまいります。

8月2日から4日にかけて開催した「2016サマーキャンプ」について、報告いたします。

国立花山青少年自然の家を会場に、岩出山、三本木、松山、鹿島台、田尻地域の4年生から6年生の小学生が集いました。

また、ジュニア・リーダー30名の協力を得て、参加者は60名にもものぼり、一緒にキャンプファイヤーやナイトハイキング、野外炊飯などの野外活動を体験しました。

「また、来年も参加したい。」、「自分もジュニア・リーダーになりたい。」など参加者からの多くの感想が寄せられました。

8月6日に開催した「有備館まつり」について、報告いたします。日中は、岩出山朝野（あさの）社中による茶会、山口流家元の山口千壽（せんじゅ）氏による篠笛（しのぶえ）コンサート、春藤流（しゅんとうりゅう）謡曲保存会「鉢の木会」による謡曲、さらには深谷（ふかや）神楽保存会及び竹の花（たけのはな）神楽保存会により神楽が、演舞されました。

夜は、岩出山小学校の子どもたちが作成協力した燈籠で、来場者を迎えました。

来場者数は570名となり、夏の楽しいひと時を提供することができました。

8月10日に開催した放課後子ども教室交流事業について、報告します。

市内で活動している3つの放課後子ども教室が輪番となり、会場持ち回り合同で、交流会を実施しております。

今年度は、下伊場野放課後子ども教室が担当となり、8月10日に下伊場野小学校体育館を会場に、陶芸を体験しました。約68名の参加があり、松山小学校、下伊場野小学校、三本木小学校の子どもたちは、陶器づくりを通じて、交流を深めました。

最後に、9月13日に召集予定の第3回大崎市議会定例会について、ご報告申し上げます。

学校教育・社会教育を中心とした歳入・歳出を含む補正予算関連議案をはじめとして、古川第一小学校屋内運動場大規模改造建築工事請負に関する仮契約締結議案、さらには図書館等複合施設書架購入に関する仮契約締結議案を提出する予定となっております。

これら議案質疑に加え、決算特別委員会、一般質問含めて、本定例会は10月7日まで行われる予定となっております。

以上で教育長報告を終わります。

委員長

ただいまの教育長報告について、補足説明があれば、説明願います。

<p>教育部長</p>	<p>私の方から第3回定例会の補正予算の内容について簡単にお話しさせていただきます。</p> <p>まず第1点目は岩出山地域の小学校統合の懇談会等を踏まえまして統合準備委員会の諸経費、懇談会等で要望がありました、岩出山小学校進入路の拡幅調査費用を470万円ほど計上いたしております。それから指定寄付として鹿島台第一幼稚園、小学校、中学校、長岡小学校、古川北中学校への指定寄付ということで教材備品購入費として1,200万円を計上しております。先ほど教育長から報告がありました中体連の東北大会、全国大会それからスポーツ少年団等の全国大会等への助成金が例年より多くなりまして合わせて約1千万程補正を組んでいます。それから公民館の改修等で230万、市民プールのろ過装置の修繕で約190万程の補正を予定しているところでございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>教育長報告につきまして、質疑はありませんか。</p>
<p>委員長</p>	<p>質疑がないものと認め、教育長報告を承認いたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>本日、事務局より追加議案として議案第44号「人事案件について」が提案されております。</p>
<p>委員長</p>	<p>日程第1 議案第41号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について」を議題といたします。 教育総務課長 説明願います。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>(説 明)</p>
<p>委員長</p>	<p>只今経緯、主旨をご説明いただきました。改めて申し上げるまでではありませんが点検、評価ということで私たち教育委員としても積極的な関わり方を持ちたいということで一緒に参加させていただいたところでございます。各担当課の方で資料をまとめていただいてご説明をいただきさらに本年度はコメントの中で担当課の成果と所見ということで文章化していただいて、更に昨年よりも精度の高いとか、レベルの高いものになったのではないかなという風なことを感謝申し上げますという風に思います。私たちの方では学校と生涯学習とを分担した関係上なにか自分の参加しなかった方への質問とか、あるいは言い足りなかったこととか、感想とかございましたらどうぞお話しただければと思います。</p>
<p>松本委員</p>	<p>内容的なものに関しては特に分かりやすい形でまとめていただいておりますので、大変素晴らしいと思います。8月3日の当日の話し合いについて感想を述べさせていただくと、昨年と比較しますと事業のに関して项目的に分かりやすく分類されていて評価しやすかったかなという風に感じました。課題としましては私は生涯学習部門の方を担当させていただきましたがこちらは事業数が多いということで話し合う時間が足りなかったように思うんですね、最後の方駆け足で進んでしまったかなという思いがありまして、資料は事前配布されておりますので担当課さんからの説明等に関しては特に読み上げるとか必要ないと思いますし、補足的な感じで話していただき質疑応答とか話し合いの部分にちょっと時間をかけていただければ尚話し合う時間ももっととれたのかなという風に感じました。</p>
<p>委員長</p>	<p>生涯学習、文化財保護関係はボリュームが多いのでなかなか時間的にもかかってしまうという意見でした。 若見委員さんどうですか</p>

若見委員

初めて参加させていただきまして、こういうものなのかということを知りました。私は今まで思っていたことを子育て世代で感じていたことを率直に書かせていただいてちょっとボリュームが多くなってしまったんですが綺麗にまとめていただいて良かったなと思っております。

氏家委員

膨大なデータをいただいてありがとうございます。いろいろ評価させていただいたんですが、やはり市民目線の評価大事だなと思えます。大崎市の教育がどうなっているのかという思いで、市民の皆さんが何を見てどう感じているのかということだと思えます。業績評価表からは大崎市の教育がどうなっているのかということのを推し量るのは携わった人でないと難しいのではないかと改めて思います。学力がどうなっているの？体力づくりはどうなっているの？昨年より実績上げたんですか？やっぱりそれが市民がみている大崎市の教育行政に対するものではないかなという風にいつも今も感じています。そういう意味で自分が評価したことが妥当なのかどうかというのもいささか自信がないところもあるんですけども、行政事務に携わっている特に課長さん方はその中心となられる訳ですので是非その辺をもう一度ご確認いただいて、もうじき策定されるであろう大崎市総合計画にそれらの事が反映されていけばいいのかなと感じていますので、改めてよろしく申し上げます。

委員長

各委員さんから意見をいただきました。私もこの点検、評価につきましては先ほども申し上げましたとおり、しっかりしたものであるなということを感じているところです。これで終わりではないのでこれから先どうするかという事が、これからの課題なのかなと、来年すぐできることもあるかもしれませんし、もうすこし時間をかけて取り組まなくてはならないことも多々あるのではないかなと思います。往々にして私も学校にいた時には、反省だけでそれで…という風になかなかそうなりがちではございますし、それにすべてというのはそれも難しいと思えますがひとつ来年度に反映できるもの、できるところは積極的に取り入れていただいてあとはこれを各課横断、各担当で、自分の担当以外のものでも目を通してある程度理解できるようなそういうような流れを作っていただきますとこの作ったものが生きてくるのかなと思ったりもしています。

いずれにいたしましても是非、来年大きな変革期を迎えるようでありますので数値目標の設定も含めてこれからある程度準備をされておくことも大事なのかなと思います。いずれにせよこれに取り組みましてこのような形でしっかりできましたことに感謝と御礼を申し上げます。

質疑がなければ、本案についてご異議なしと認め、原案のとおり決定いたします。

委員長

次に日程第2 議案第42号「人事案件について」を議題といたします。
教育部参事 説明願います。

教育長

発議

委員長

発議があるので認めます。

教育長

議案第42号、議案第43号及び議案第44号につきましては人事案件でありますので、教育委員会会議規則第5条第1項の規定により秘密会とすることのお取り計らいをお願いいたします。

委員長	お諮りいたします。 議案第42号、議案第43号及び議案第44号「人事案件について」は、秘密会とすることにご異議ございませんか。
委員	(異議なしの声)
委員長	ご異議なしと認め、秘密会といたします。 教育部長、教育部参事、教育総務課長を除き、そのほかの方々のご退室願います。
委員長	会議を再開いたします。
委員長	次に報告事項に入ります「平成28年度大崎市の教育について」 教育総務課長 説明願います。
教育総務課長	(説 明)
委員長	ただいまの件につきまして、質疑はありませんか。
松本委員	資料の確認ですが、40ページの市立幼稚園施設一覧これは昨年度のものでしょうか。
角力山	ただ今、修正中でございます。他にも若干修正箇所がございます。
氏家委員	本当にご苦労さまでございます。来年あたりから全くリニューアルするかもしれないんですが、それでも28年度は整理しておかなければならないものなのでよろしくお願います。 若干気づいたところがありますので、後で持って行ってよろしいですか。例えば公民館等は古川地区の公民館だけ紹介していただいて、西大崎地区館とかが抜けているんですけどもこのあたり、基幹公民館と指定管理の公民館をはっきり掲載しておいた方が地区の方でやりやすいのではないかなというのもあったので一応付箋を貼っておきましたのでよろしくお願います。 あとは、去年もこれはどうしたら良いのかと思いましたが16ページの組織機構なのですが小、中、幼稚園で万が一何かあった時に指導監督を直接なされるのはこの図から行くと教育部長さんですよ。それでよろしいですよ。市町村によっては学校教育課長が窓口になってマスコミ対応されたりしているところもあるようですが。
教育部長	組織機構図上でみると学校教育課に小・中学校、幼稚園はぶら下がるはずです。
教育長	並べ方も幼、小、中といたします。学校教育法上もそのような並びになっています。
委員長	直せるところは直さないといけないと思いますのでよろしくお願いたします。
委員長	私も細かいところで恐縮ですが、最初にページが1と振ってありますがここには入りませんよね。
角力山	はい、本日の資料として見やすくするために振ったものです。

委員長 今日資料の20ページですが、教育財政の(1)で28年度教育費の概要ということで歳入のグラフ出ていますが、これは違うのではないですが、地方交付税がいくらとか市税がいくらとかというグラフがここに入ってくるのであって、この公債費というのは別物ではないかと思いましたが。

角力山 歳出のグラフになっておりました。資料印刷後に修正しております。

委員長 21ページ(2)の平成28年度主な教育費内訳の学校教育という欄の③教員補助員配置事業の括弧で個性を生かすきめ細かな事業支援事業繰越明許費を含むとありますが、これは具体的にどのような事ですか。

平地補佐 地方創生事業で教員補助事業等を当初国の認可を受ければ国の交付金でまかないたいということで、地方創生の予算枠の方に上程しておりましたが結局実現しませんでしたので結果10款の方に引き継いで教員補助の一般財源に充てたということで、財政システムからの繰越明許を引っ張ってきてしまったので財源内訳の関係でこういったサブタイトルを付けさせていただいた経緯があります。

委員長 これは国のそちらの方の事業をこちらに持ってきたというか、当てはめたということですね。これは繰越明許ということは27年度のやつが繰越を認められて28年度に使える。

平地補佐 平成27年度の3月補正で本年の事業として平成28年度に繰越しました。

委員長 氏家委員の話に戻りますが、これは一体誰の為にしているんだという視点で、正しいことが必要ですがひょっとしたらあまり専門的領域の事については事務局の持ち手という位で止めて表記しなくても良いものもあるのかもしれないなど、素人が見て分からないもの何だろうなと思うようなものはどうなのかなと今説明を聞いて思いましたがその辺も検討していただければなと思います。これは各学校とかどの範囲で配るのですか。

角力山 議会、県内市の教育委員会、大崎地区の町、各施設等、庁議メンバー、250部位しか作成いたしません。

氏家委員 学校教育の事業それぞれは、事業名、主旨、内容等重点との関連という形で統一されているんですね。生涯学習に行く事業名、内容となっているんですが。内容の欄を見ると主旨が入っていたりしているので、同じようにやられたらいいのではないかと思いましたが、たぶん今年間は間に合わないと思いますので、次年度以降ご検討いただければと思います。

委員長 以前もお話ししたような気もするんですが、来年作成する際は学校教育と生涯学習分野の記述がちょっと違っているようなので、統一した形での記述の仕方というものを最初に計画的に取り組みさせていただきたいと思います。

氏家委員 主旨の部分に書かれていることは、～をするためにという事なんですね。後で事業評価等をする時にそれに基づいて評価していけばいい事なんですね。それを明確にしておいて、具体的にどういった中身にしていこうという事になれば、或いは使いやすいのかなと思います。

委員長	本年度だけに関わらず、次年度に向けてのお話しも出ましたが、是非とも参考にさせていただければありがたいと思います。
委員長	質疑がなければ、本報告については、了といたします。
委員長	次に「平成27年度大崎市公民館事業の実施状況について」 中央公民館長 説明願います。
説明員	(説 明)
委員長	ただいまの件につきまして、質疑はありませんか。
松本委員	各事業の次年度以降の方向性という項目で、内容を見直して継続とか、目的を達成したため廃止というような方向性が出ていますが、これは職員が判断した結果でしょうか、或いはいろんな市民が話し合いをして市民の意向というのにも加味された方向性なのでしょうか。
中央公民館長	各それぞれの公民館で今後どのようにするかを決めているんですけども、公民館運営審議会、社会教育委員会にもこれは提出しております。
松本委員	例えば本当はもっと継続してもらいたいのに勝手に廃止するとかいう判断ではないっていうことですね。その時代にあった事業展開になっていくのであれば大変いいのかなと思います
委員長	私も松本委員さんと同じことを聞きたいと思っていました。次年度以降の方向性というところが何か基準があって誰がどうやって決めるのかなというようなことをお伺いしたかったのですが、今お話を伺って大体わかりました。ちょっと気にかかったのが目的を達成したため廃止っていう項目があるんですが、難しいなと思うのはやはり事業を見直しして新規事業を起こす、それから事業を廃止する。当然サイクルは大事なんですが目的を達成したため廃止という言葉は誰にとってなのかなとたまたま見ていたら西古川地区の天文、上野目地区の天文関係が廃止の憂き目にあっていると申しましょうか。ひょっとして人数少なくてもやって欲しいとか興味があるとか、むしろ個人的な立場から言うと地区の公民館だからこそやって欲しい、でも参加者は少ないかもしれないというのかもしれないなあという事も思ったりして資料を見ていたんですが、特に廃止という言葉掲げているときにはやっぱりその地区の住民の方にもそれなりのきちっと説明を果たしたうえで、やらないようになったとかそういうことは必要なのかなと思いつつこれを読ませていただきました。話は逆になりますが、この資料は大変すばらしいと思います。こういう形で基幹公民館と地区公民館の事業をまとめられるということは大変な作業だったとは思いますが、この資料は県内でもそんなに見ないくらいしっかりとした資料ではないかなと思います。ここからどのような形で次に進むかという事もいわゆる考察というものが次の段階で出てくるとなると、活きるのかなと思って読ませていただきました。

対象なんです、中央公民館が大体市全体をフォローして、各地区公民館は各地区をとという基本的な役割分担の方向性だというのは理解したところですが、中身は枠を越えてとか地区公民館、基幹公民館の方でもそのような事業もある。これから一つの取り組み方として伝統的に松山と三本木と鹿島台は合併前からまとまっているんですよ。そういう仕組みでジュニアリーダーとかも一緒にやってきた歴史がある。それぞれの歴史を踏まえた時にやはりものの考え方としては中域的な、広域ばかりではなくてそのブロックで共同の事業をやっていくというやり方がよその地区にもいいものは根付いていくと良いなということを感じました。ひょっとして合併して10年になりますので一体化というように考えた場合は市全体、或いは旧町、そしてブロック的なそういうような事業の組み方、ジュニアリーダー等はやっているようですがそういう事も一つ考え方に入れて中央公民館の方でリーダーシップを発揮していただいて、取り組まれたらなお良いのかな生涯学習課の方で少し声がけしたりそういうようなやり方も検討していただければありがたいと思います。

対象の名称なんです、例えば松山地域の成人女性、岩出山地域に在住する成人女性、成人一般女性、成人女性、女性、女性の方とそれぞれの公民館で募集するそのとおりだとは思いますがこの辺は統一しても良いのかなと思いました。

委員長

質疑がなければ、本報告については、了といたします。

委員長

以上で、本日の教育委員会定例会を終了いたします。

委員長

次に、各課・館の報告に入ります。
教育部長→参事→中央公民館長→教育総務課長→学校教育課長→生涯学習課長→文化財課長→図書館長→学校教育課副参事

閉 会

この会議録の作成者は次のとおりである。

教育総務課 総務担当 係長 角力山 淳

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長

署名委員